

キヤノン株式会社

2023年第3四半期 決算説明会

2023年10月26日

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

目次

■ 2023年3Q実績	P 2
■ 2023年最新見通し	P 3
■ ビジネスユニット別詳細 (2023年3Q実績/2023年最新見通し)	P 4~10
■ 財務状況	P 11~12
■ サステナビリティへの取り組み	P 13
■ グローバル優良企業グループ構想PhaseVI	P 14
■ 参考資料	P 15~21

2023年 3Q実績のポイント

- 中国をはじめとする各地域の需要軟化、競争激化により計画未達
- 新規事業成長と円安により、11四半期連続の増収、2007年以来の1兆円超え
- 数量減、経費の増加をコストダウンと為替でカバーし、増益を達成

(億円)	3Q		
	2023年 実績	2022年 実績	対前年
売上高	10,252	9,961	+2.9%
売上総利益 (売上総利益率)	4,821 47.0%	4,510 45.3%	+6.9%
経費 (経費率)	3,995 38.9%	3,696 37.1%	
営業利益 (営業利益率)	826 8.1%	814 8.2%	+1.5%
税引前利益	873	791	+10.4%
純利益 (純利益率)	621 6.1%	541 5.4%	+14.8%
USD	144.76	138.40	
EUR	157.32	139.40	

(億円)	3Q累計		
	2023年 実績	2022年 実績	対前年
売上高	30,173	28,742	+5.0%
売上総利益 (売上総利益率)	14,208 47.1%	13,095 45.6%	+8.5%
経費 (経費率)	11,614 38.5%	10,534 36.7%	
営業利益 (営業利益率)	2,594 8.6%	2,561 8.9%	+1.3%
税引前利益	2,760	2,320	+19.0%
純利益 (純利益率)	1,839 6.1%	1,591 5.5%	+15.6%
USD	138.27	128.26	
EUR	149.59	136.07	

2023年 見通しのポイントと全社PL

- 需要軟化と価格競争再開により売上見通しは引き下げるが、商戦期の4Qは1兆2,000億円の売上を計画
- 営業利益は引き続き、2008年以来の4,000億円台を目指す

(億円)	2023年 最新見通し	2022年 実績	対前年	2023年 前回見通し	対前回
売上高	42,200	40,314	+4.7%	43,630	-1,430
売上総利益 (売上総利益率)	19,980 47.3%	18,278 45.3%	+9.3%	20,130 46.1%	-150
経費 (経費率)	15,980 37.8%	14,744 36.5%		16,130 36.9%	+150
営業利益 (営業利益率)	4,000 9.5%	3,534 8.8%	+13.2%	4,000 9.2%	0
税引前利益	4,250	3,524	+20.6%	4,250	0
純利益 (純利益率)	2,920 6.9%	2,440 6.1%	+19.7%	2,920 6.7%	0
USD	140.11	131.66		135.05	
EUR	151.13	138.42		145.42	

2023年4Qの為替影響額
(1円の変動による影響)

	売上	営業利益
USD	36億円	11億円
EUR	19億円	9億円

プリンティング (オフィス)

- 3Qも上期に引き続き、販売は堅調
- 4Qも販売台数を伸ばすことで、マーケットシェア拡大

(億円)

	3Q			年間				
	2023年 実績	2022年 実績	対前年	2023年 最新見通し	2022年 実績	対前年	2023年 前回見通し	対前回
オフィス	2,405	2,286	+5.2%	9,844	8,889	+10.8%	9,843	+1
プロシューマー	2,313	2,332	-0.8%	9,614	10,213	-5.9%	10,298	-684
プロダクション	986	930	+6.0%	3,970	3,624	+9.5%	3,849	+121
売上高計	5,704	5,548	+2.8%	23,428	22,726	+3.1%	23,990	-562
営業利益	460	410	+12.3%	2,414	2,124	+13.7%	2,418	-4
%	8.1%	7.4%		10.3%	9.3%		10.1%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2023年 3Q実績	2023年 最新見通し
オフィス	+0.7%	+6.1%
プロシューマー	-4.7%	-9.1%
プロダクション	-1.3%	+2.5%
合計	-1.9%	-1.3%

■ 対前年台数伸び率

	2023年 3Q実績	2023年 最新見通し
オフィス複合機	-13%	+7%



『imageRUNNER ADVANCE DX C3900』シリーズ

※2023年より、「その他及び全社」及び「プリンティング」オフィスに含めていたビジネスの一部を「プリンティング」プロシューマーに移しており、2022年実績を遡及して組み替えています。

プリンティング（プロシューマー）

- 市況が想定より弱く、年間見通しを下方修正
- 4Qは本体売上に注力し、来年の消耗品販売につなげる

(億円)

	3Q			年間				
	2023年 実績	2022年 実績	対前年	2023年 最新見通し	2022年 実績	対前年	2023年 前回見通し	対前回
オフィス	2,405	2,286	+5.2%	9,844	8,889	+10.8%	9,843	+1
プロシューマー	2,313	2,332	-0.8%	9,614	10,213	-5.9%	10,298	-684
プロダクション	986	930	+6.0%	3,970	3,624	+9.5%	3,849	+121
売上高計	5,704	5,548	+2.8%	23,428	22,726	+3.1%	23,990	-562
営業利益	460	410	+12.3%	2,414	2,124	+13.7%	2,418	-4
%	8.1%	7.4%		10.3%	9.3%		10.1%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2023年 3Q実績	2023年 最新見通し
オフィス	+0.7%	+6.1%
プロシューマー	-4.7%	-9.1%
プロダクション	-1.3%	+2.5%
合計	-1.9%	-1.3%

■ 対前年台数伸び率

	2023年 3Q実績	2023年 最新見通し
LP	-23%	-27%
インクジェット	0%	-7%



ビジネスインクジェットプリンター
大容量インクモデル
『GX5530』シリーズ

※2023年より、「その他及び全社」及び「プリンティング」オフィスに含めていたビジネスの一部を「プリンティング」プロシューマーに移しており、2022年実績を遡及して組み替えています。

プリンティング（プロダクション）

- サービス収入の増加と円安影響で10四半期連続の増収
- 4Qは四半期では最高となる1,100億円以上の売上を目指す

(億円)

	3Q			年間				
	2023年 実績	2022年 実績	対前年	2023年 最新見通し	2022年 実績	対前年	2023年 前回見通し	対前回
オフィス	2,405	2,286	+5.2%	9,844	8,889	+10.8%	9,843	+1
プロシューマー	2,313	2,332	-0.8%	9,614	10,213	-5.9%	10,298	-684
プロダクション	986	930	+6.0%	3,970	3,624	+9.5%	3,849	+121
売上高計	5,704	5,548	+2.8%	23,428	22,726	+3.1%	23,990	-562
営業利益	460	410	+12.3%	2,414	2,124	+13.7%	2,418	-4
%	8.1%	7.4%		10.3%	9.3%		10.1%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2023年 3Q実績	2023年 最新見通し
オフィス	+0.7%	+6.1%
プロシューマー	-4.7%	-9.1%
プロダクション	-1.3%	+2.5%
合計	-1.9%	-1.3%



グラフィックアーツ向け大判プリンター
『Colorado M-シリーズ』

※2023年より、「その他及び全社」及び「プリンティング」オフィスに含めていたビジネスの一部を「プリンティング」プロシューマーに移しており、2022年実績を遡及して組み替えています。

イメージング (カメラ)

- ミラーレスカメラの新製品が牽引し、3Qも売上を伸ばす
- ラインアップ拡充した本体・レンズの相乗効果でミラーレスのシェアアップ

(億円)

	3Q			年間				
	2023年 実績	2022年 実績	対前年	2023年 最新見通し	2022年 実績	対前年	2023年 前回見通し	対前回
カメラ	1,387	1,321	+4.9%	5,515	5,097	+8.2%	5,691	-176
ネットワークカメラ他	820	708	+15.8%	3,495	2,938	+19.0%	3,459	+36
売上高計	2,207	2,029	+8.7%	9,010	8,035	+12.1%	9,150	-140
営業利益	402	366	+9.7%	1,562	1,266	+23.4%	1,518	+44
%	18.2%	18.0%		17.3%	15.8%		16.6%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2023年 3Q実績	2023年 最新見通し
カメラ	-0.2%	+2.7%
ネットワークカメラ他	+8.8%	+12.0%
合計	+2.9%	+6.1%

■ 対前年台数伸び率 (単位：万台)

	2023年3Q実績		2023年最新見通し	
	台数	伸び率	台数	伸び率
レンズ交換式	74	+1%	290	+1%



EOS Rシリーズ初のエントリーモデル
『EOS R50』(左)と
『EOS R100』

イメージング (ネットワークカメラ他)

- 製品ラインアップ拡充や販売体制の強化により本体の売上を伸ばす
- 映像を管理・解析するシステムも開発・販売を強化し、成長継続

(億円)

	3Q			年間				
	2023年 実績	2022年 実績	対前年	2023年 最新見通し	2022年 実績	対前年	2023年 前回見通し	対前回
カメラ	1,387	1,321	+4.9%	5,515	5,097	+8.2%	5,691	-176
ネットワークカメラ他	820	708	+15.8%	3,495	2,938	+19.0%	3,459	+36
売上高計	2,207	2,029	+8.7%	9,010	8,035	+12.1%	9,150	-140
営業利益	402	366	+9.7%	1,562	1,266	+23.4%	1,518	+44
%	18.2%	18.0%		17.3%	15.8%		16.6%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2023年 3Q実績	2023年 最新見通し
カメラ	-0.2%	+2.7%
ネットワークカメラ他	+8.8%	+12.0%
合計	+2.9%	+6.1%



サーバー型映像管理



クラウド型映像管理



映像要約
映像解析



映像を管理・解析するグループ会社3社

メディカル

- 3Qは日本及び欧州で売上を伸ばし、6四半期連続の増収
- 4Qは高い受注残を確実に年内の売上につなげ、年間で3年連続となる最高業績の更新を目指す

(億円)

	3Q			年間				
	2023年 実績	2022年 実績	対前年	2023年 最新見通し	2022年 実績	対前年	2023年 前回見通し	対前回
売上高計	1,324	1,261	+5.0%	5,618	5,133	+9.4%	5,762	-144
営業利益	66	64	+3.2%	368	310	+18.7%	406	-38
%	5.0%	5.1%		6.6%	6.0%		7.0%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2023年 3Q実績	2023年 最新見通し
合計	+1.3%	+5.9%



80列CT
『Aquilion Serve』



超音波診断装置
『Aplio me』

インダストリアル（光学機器/産業機器）

- 半導体露光装置は、年内に設置を確実に進め189台の販売を計画
- パネル向け装置は、2024年後半以降に向けて準備を進める

(億円)

	3Q			年間				
	2023年 実績	2022年 実績	対前年	2023年 最新見通し	2022年 実績	対前年	2023年 前回見通し	対前回
光学機器	531	649	-18.2%	2,150	2,404	-10.6%	2,294	-144
産業機器	257	221	+16.4%	1,002	888	+12.9%	1,235	-233
売上高計	788	870	-9.4%	3,152	3,292	-4.3%	3,529	-377
営業利益	158	169	-6.6%	594	580	+2.4%	608	-14
%	20.0%	19.4%		18.8%	17.6%		17.2%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2023年 3Q実績	2023年 最新見通し
光学機器	-18.6%	-11.2%
産業機器	+15.6%	+12.1%
合計	-9.9%	-4.9%

■ 露光装置台数 (単位：台)

	2023年 3Q実績	2022年 3Q実績	2023年 最新見通し	2022年 実績
半導体	50	50	189	176
FPD	1	15	28	51



後工程向け半導体露光装置
『FPA-5520iV』

在庫の状況

- 9月末は為替影響と4Q拡販に向けた在庫積み増しで6月末から増加
- 4Qの売上拡大により年末に向けては大きく減少

(金額：億円)	2022年				2023年			
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	
プリンティング	金額	3,247	3,536	4,081	3,668	3,725	3,875	3,776
	日数	58	60	67	56	57	62	60
イメージング	金額	1,171	1,266	1,436	1,376	1,636	1,733	1,846
	日数	63	64	65	56	69	77	77
メディカル	金額	1,205	1,294	1,377	1,283	1,363	1,431	1,509
	日数	89	100	103	85	88	102	107
インダストリアル	金額	1,178	1,338	1,374	1,240	1,330	1,400	1,428
	日数	131	166	152	124	154	187	170
その他及び全社	金額	531	547	571	516	534	542	580
合計	金額	7,332	7,981	8,839	8,083	8,588	8,981	9,139
	日数	73	78	81	69	74	82	82

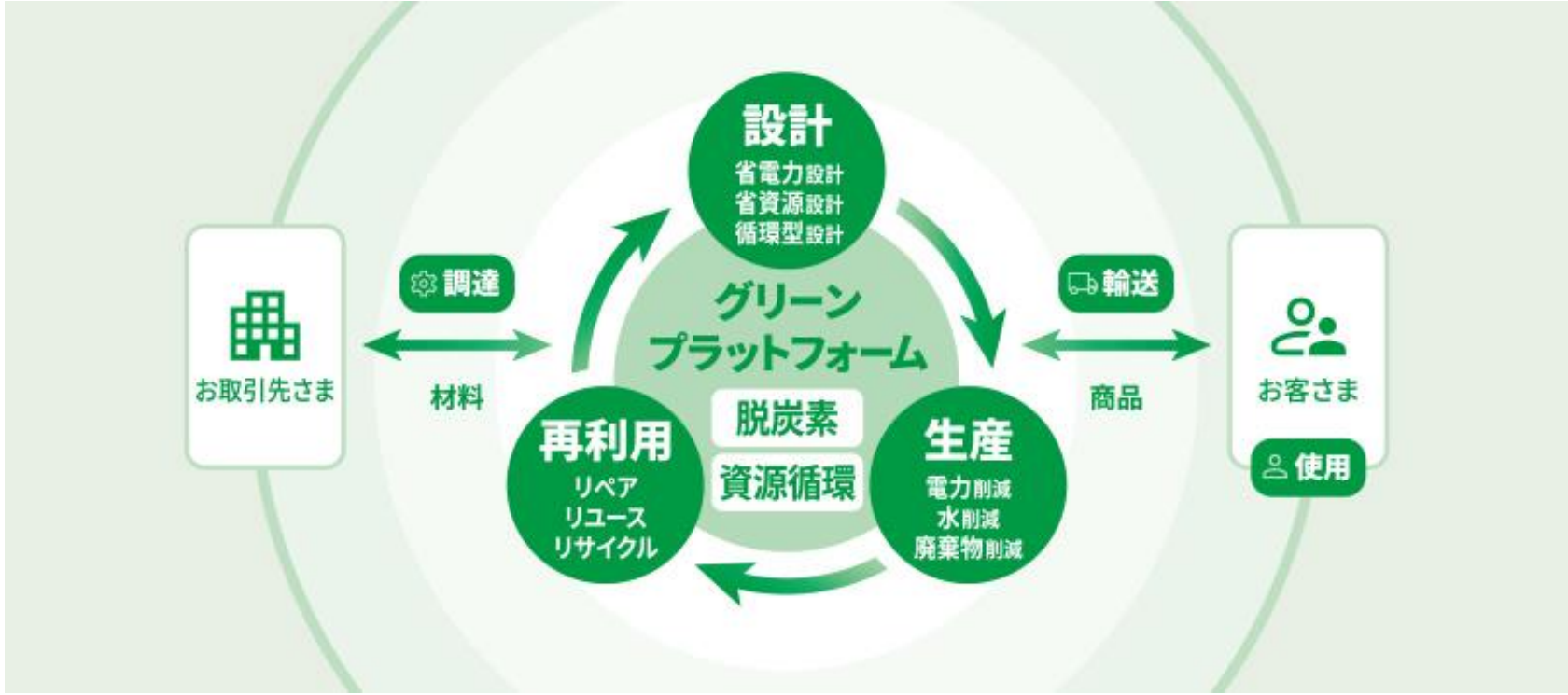
キャッシュフロー(年間)

- 計画は下回るものの、5,000億円と昨年以上の営業CFを見込む
- 2,570億円の成長投資と、安定的で積極的な株主還元を実施

(億円)	2023年 最新見通し	2023年 前回見通し	2022年 実績	2021年 実績
営業活動によるキャッシュフロー	5,000	6,330	2,626	4,510
投資活動によるキャッシュフロー	-2,570	-2,570	-1,808	-2,072
フリーキャッシュフロー	2,430	3,760	818	2,438
財務活動によるキャッシュフロー	-2,580	-3,840	-1,468	-2,674
為替変動影響	179	39	257	173
現預金の純増減額	29	-41	-393	-63
現預金の期末残高	3,650	3,580	3,621	4,014
手元回転月数	1.0	0.9	1.0	1.3
設備投資	2,250	2,400	1,833	1,790
償却費	2,400	2,400	2,265	2,212

サステナビリティへの取り組み

- 「グリーンプラットフォーム」で、製品ライフサイクル全体で環境負荷低減を目指す

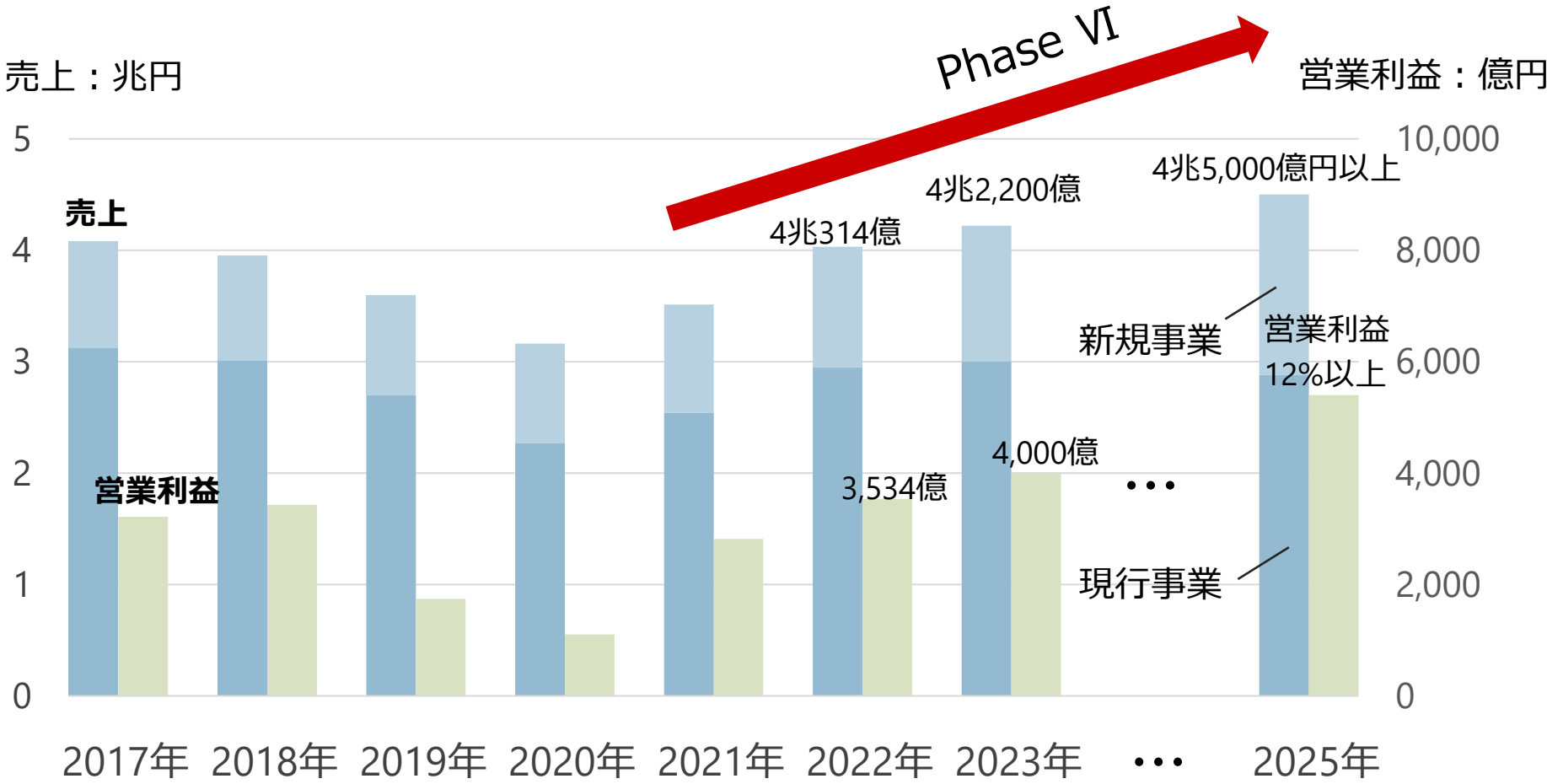


SBTiの基準に沿ったキャノンのCO2排出量の削減目標

「スコープ1」「スコープ2」	42%削減
「スコープ3」	25%削減

グローバル優良企業グループ構想 Phase VI

■ 3期連続の増収増益を果たし、2025年の業績目標達成に繋げる



參考資料

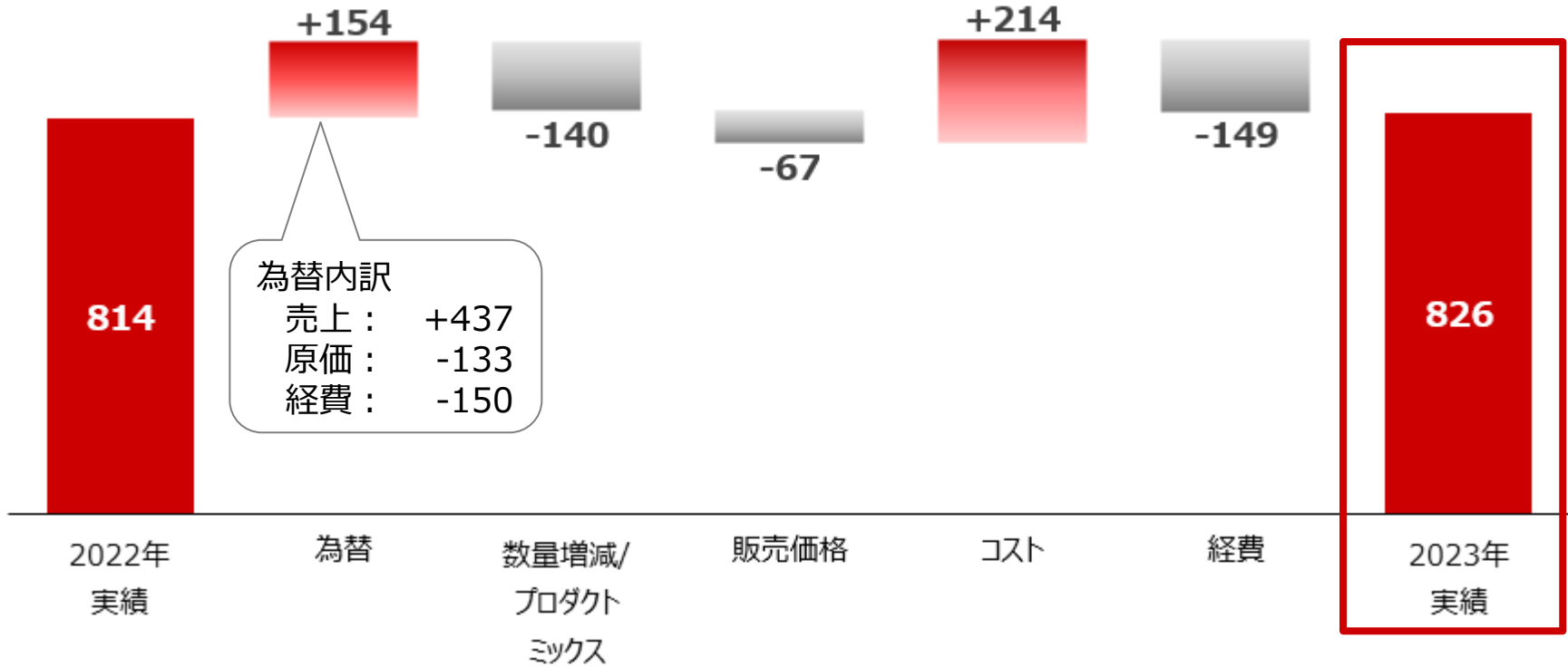
2023年 ビジネスユニット別PL(3Q)

(億円)		3Q			3Q累計		
		2023年 実績	2022年 実績	対前年	2023年 実績	2022年 実績	対前年
プリンティング	売上高	5,704	5,548	+2.8%	17,034	16,324	+4.3%
	営業利益 (%)	460 (8.1%)	410 (7.4%)	+12.3%	1,560 (9.2%)	1,605 (9.8%)	-2.9%
イメージング	売上高	2,207	2,029	+8.7%	6,323	5,610	+12.7%
	営業利益 (%)	402 (18.2%)	366 (18.0%)	+9.7%	1,119 (17.7%)	823 (14.7%)	+35.9%
メディカル	売上高	1,324	1,261	+5.0%	3,896	3,625	+7.5%
	営業利益 (%)	66 (5.0%)	64 (5.1%)	+3.2%	179 (4.6%)	211 (5.8%)	-14.8%
インダストリアル	売上高	788	870	-9.4%	2,158	2,338	-7.7%
	営業利益 (%)	158 (20.0%)	169 (19.4%)	-6.6%	353 (16.3%)	447 (19.1%)	-21.0%
その他及び全社	売上高	447	538	-16.8%	1,414	1,571	-10.0%
	営業利益	-255	-198	-	-600	-529	-
消去	売上高	-218	-285	-	-652	-726	-
	営業利益	-5	3	-	-17	4	-
連結合計	売上高	10,252	9,961	+2.9%	30,173	28,742	+5.0%
	営業利益	826	814	+1.5%	2,594	2,561	+1.3%
	(%)	(8.1%)	(8.2%)		(8.6%)	(8.9%)	

※2022年年間決算発表より従来「インダストリアルその他」に含まれていた露光装置と産業機器を「インダストリアル」として独立させ、その他の事業については全社費用と合算しております。加えて2023年より、「その他及び全社」に含めて開示していたビジネスの一部を「プリンティング」に移しており、2022年実績を遡及して組み替えています。

2023年 営業利益分析(3Q)対前年

(億円)



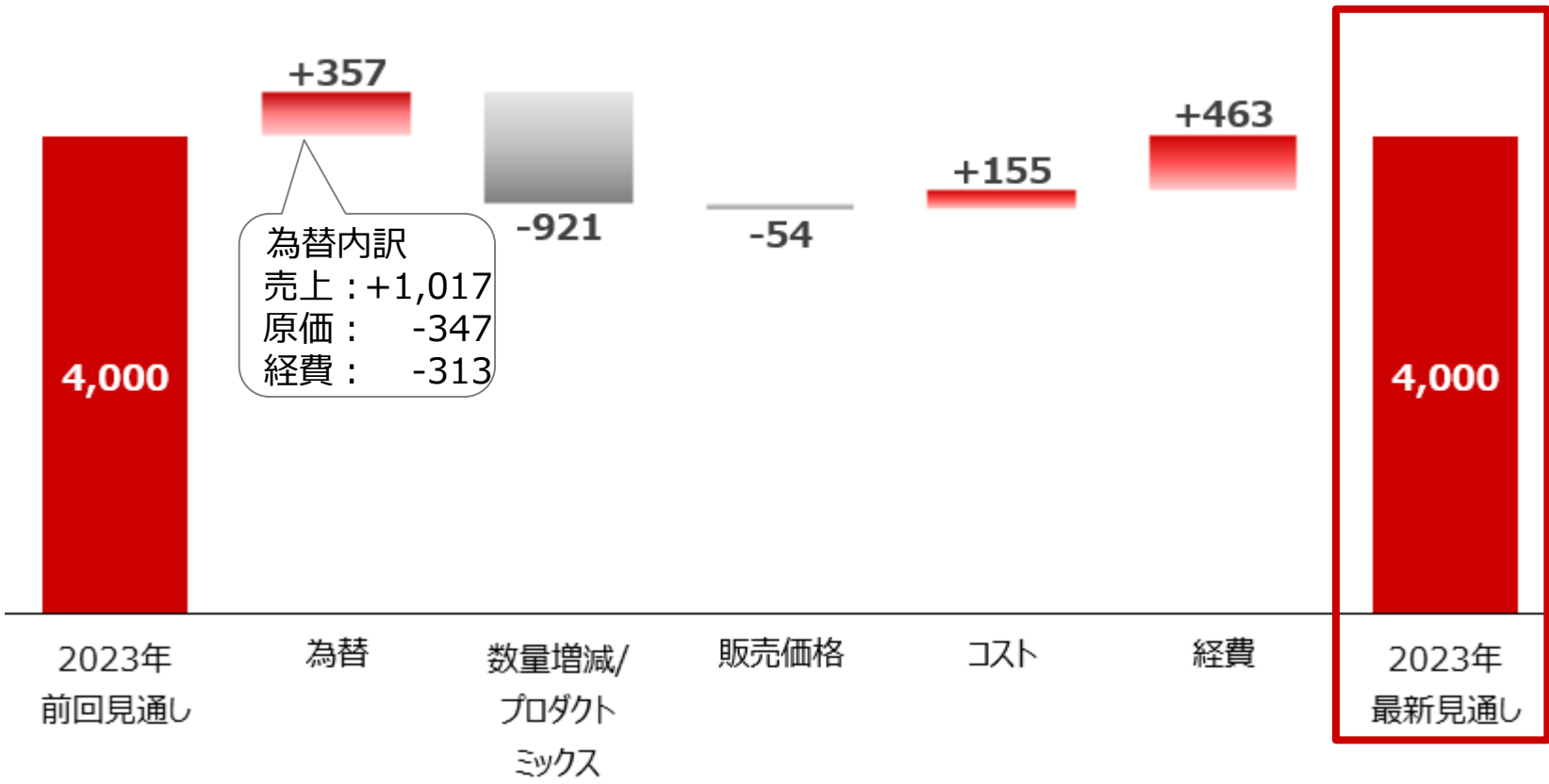
2023年 ビジネスユニット別PL(年間)

(億円)		2023年 最新見直し	2022年 実績	対前年	2023年 前回見直し	対前回
プリンティング	売上高	23,428	22,726	+3.1%	23,990	-562
	営業利益	2,414	2,124	+13.7%	2,418	-4
	(%)	(10.3%)	(9.3%)		(10.1%)	
イメージング	売上高	9,010	8,035	+12.1%	9,150	-140
	営業利益	1,562	1,266	+23.4%	1,518	+44
	(%)	(17.3%)	(15.8%)		(16.6%)	
メディカル	売上高	5,618	5,133	+9.4%	5,762	-144
	営業利益	368	310	+18.7%	406	-38
	(%)	(6.6%)	(6.0%)		(7.0%)	
インダストリアル	売上高	3,152	3,292	-4.3%	3,529	-377
	営業利益	594	580	+2.4%	608	-14
	(%)	(18.8%)	(17.6%)		(17.2%)	
その他及び全社	売上高	1,943	2,123	-8.5%	2,248	-305
	営業利益	-925	-738	-	-943	+18
消去	売上高	-951	-995	-	-1,049	+98
	営業利益	-13	-8	-	-7	-6
連結合計	売上高	42,200	40,314	+4.7%	43,630	-1,430
	営業利益	4,000	3,534	+13.2%	4,000	0
	(%)	(9.5%)	(8.8%)		(9.2%)	

※2022年年間決算発表より従来「インダストリアルその他」に含まれていた露光装置と産業機器を「インダストリアル」として独立させ、その他の事業については全社費用と合算しております。加えて2023年より、「その他及び全社」に含めて開示していたビジネスの一部を「プリンティング」に移しており、2022年実績を遡及して組み替えています。

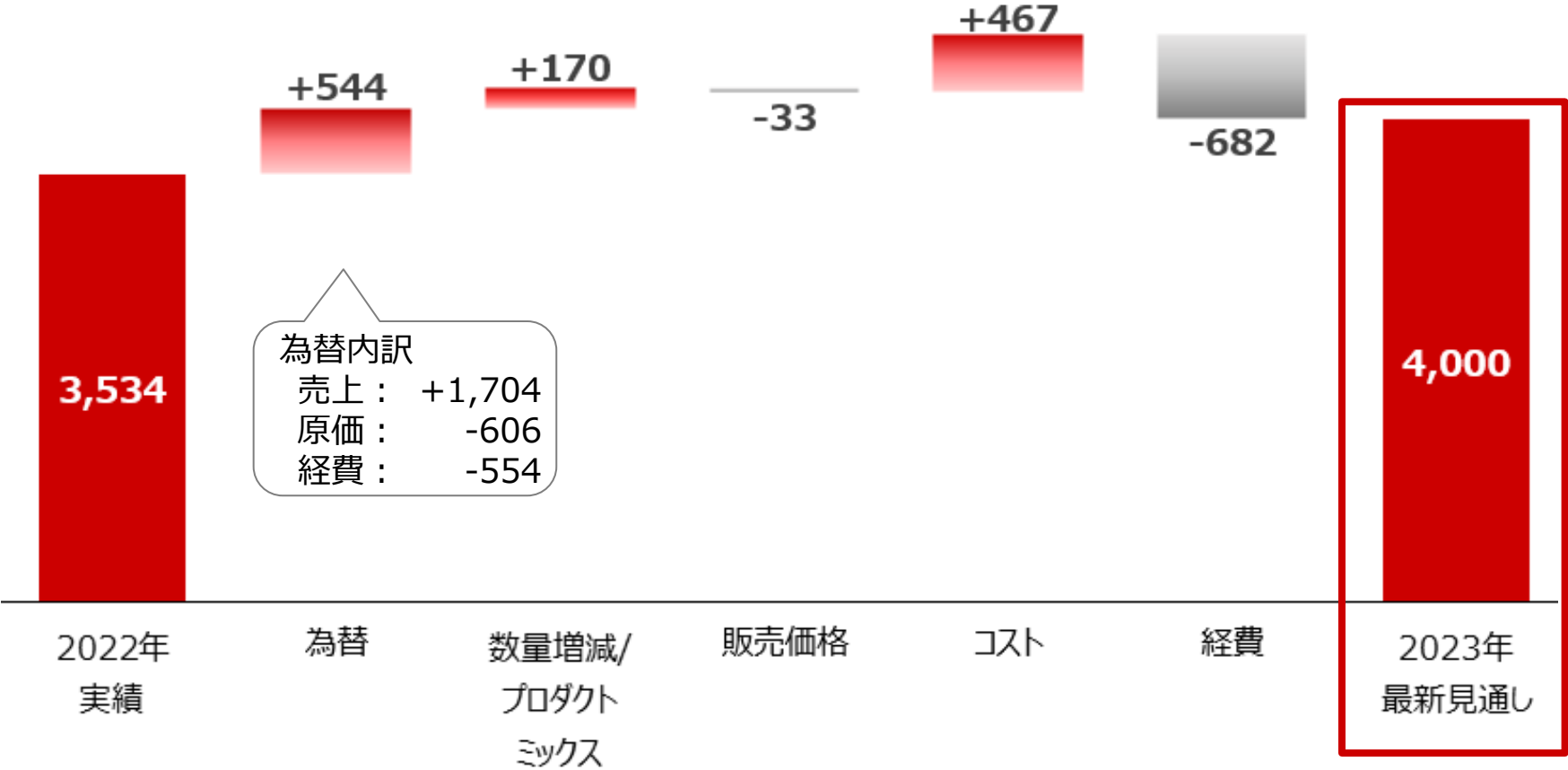
2023年 営業利益分析(年間)対前回

(億円)



2023年 営業利益分析(年間)対前年

(億円)



■プリンティング ハード/ノンハード別 対前年売上伸び率

			2023年		2022年	
			3Q 実績	年間 最新見通し	3Q 実績	年間 実績
オフィス複合機	円貨	ハード	-4%	+12%	+75%	+30%
		ノンハード	+7%	+7%	+14%	+10%
	LC	ハード	-9%	+7%	+54%	+17%
		ノンハード	+2%	+2%	+3%	+2%
LP	円貨	ハード	-12%	-12%	+53%	+34%
		ノンハード	+2%	-5%	-8%	+6%
	LC	ハード	-16%	-16%	+32%	+19%
		ノンハード	0%	-6%	-18%	-2%
インクジェット	円貨	ハード	-1%	-10%	+33%	+34%
		ノンハード	+10%	+4%	-18%	-7%
	LC	ハード	-6%	-14%	+17%	+21%
		ノンハード	+3%	-1%	-27%	-15%
プロダクション	円貨	ハード	+3%	+10%	+46%	+30%
		ノンハード	+8%	+9%	+29%	+23%
	LC	ハード	-4%	+4%	+25%	+15%
		ノンハード	0%	+2%	+12%	+10%

※2023年より、「その他及び全社」及び「オフィス」オフィス複合機に含めていたビジネスの一部を「プロシューマー」インクジェットに移しており、2023年の伸び率は前年を組み替えた前提で表示しています。

■ オフィス/プロシューマー 製品別売上高

(億円)

		2023年		2022年	
		3Q 実績	年間 最新見通し	3Q 実績	年間 実績
オフィス	オフィス複合機	1,515	6,207	1,497	5,678
	オフィスその他	890	3,637	789	3,211
		2,405	9,844	2,286	8,889
プロシューマー	LP	1,458	6,000	1,515	6,512
	インクジェット	855	3,614	817	3,701
		2,313	9,614	2,332	10,213

■ 半導体露光装置台数 光源別内訳

(単位：台)

		2023年		2022年	
		3Q 実績	年間 最新見通し	3Q 実績	年間 実績
	KrF	21	57	11	51
	i線	29	132	39	125
	合計	50	189	50	176

※2023年より、「その他及び全社」及び「オフィス」オフィス複合機に含めていたビジネスの一部を「プロシューマー」インクジェットに移しており、2022年実績を遡及して組み替えています。